

質問に対する回答書について

工事名) 秋田自動車道 相野々橋 (PC上部工) 工事

質問事項と回答

番号	質問	回答
1	<p>金抜設計書 6頁</p> <p>番号 37、特- (1) つらら防止工 A は、土木工事積算基準 (令和 7 年度版) に標準歩掛は見うけられません。中央分離帯転落防止網設置 (ホールインアンカー方式) を代用し積算するのでしょうか、または、特別調査の歩掛なののでしょうか。ご教授願います。また、特別調査の場合はご公表願います。</p>	<p>積算に関する質問はお答えできません。</p>
2	<p>金抜設計書 7頁</p> <p>番号 48、9- (1) PC 構造物の詳細設計 A において、PC5 径間連続箱桁橋 (支保工 171.733m (2.5 径間)、片持ち 171.228m (2.5 径間)) と推定できますが、調査等積算基準 (令和 7 年度版) 5-66 頁、5-7 構造物設計、5-7-2 構造物設計の標準歩掛 (A) に記載している (表) 標準歩掛及び基準長を利用する場合は、今回の橋梁は PC5 径間連続箱桁橋 橋長 344.361m となり、支保工法 171.733m 3 径間と片持ち工法 171.228m 3 径間の 2 パターンで算出するとの考えでよろしいでしょうか、ご教授願います。</p>	<p>積算に関する質問はお答えできません。</p>